



あけまして おめでとうございます

2025年(令和7年)が始まりました。園児の皆様、保護者の皆様方には、良き新春を迎えられたこと心より喜び申し上げます。今年巳年(みどし)へびの年です。へびは、苦手だという人もいるかと思いますが、ある調べによりますと、警察に届けられる



「落とし物」にコロナ禍明けからトカゲやへび、カメなど「エキゾチックアニマル」と呼ばれる生き物が急増しているそうです。

このように好き嫌いがわかるへびですが、一方で「金運アップの象徴」「へびの夢を見ると金運が上がる」などとして、へびの抜け殻を財布に入れたり、へびをかたどったアクセサリーを身につけたりする人もみえると思います。

へびが金運と結びついているのは、インドで白蛇が金運をつかさどる弁財天の化身とされており、「巳」と「実」が同じ「み」の読みを持つことから、「実(巳)入りする=収入がある」という掛け言葉にもなっているからだそうです。

脱皮を繰り返すへびは、生命力や再生のシンボルとも考えられ、金運だけでなく運気そのものを上げる縁起物として定着しているそうです。(nippon.comサイトより)ところで、お正月といえば「お餅」ですが、日本ではどうして餅つきをするのでしょうか。少し調べてみました。

日本には稲作信仰から稲そのものは神聖な物と考えられてきて、稲から採れるコメは人々の生命力を強める神聖な食べ物であり、コメをついて固める餅やコメから醸造される日本酒はとりわけ力が強いとされてきました。そこで、祝い事や特別な日である「ハレの日」に、餅つきをするようになり、餅つきは一人ではできないため、皆の連帯感を高め、喜びを分かち合うという社会的意義もあるそうです。

お正月には「鏡餅」、桃の節句には「菱餅」、端午の節句には「柏餅」というように、行事食としても定着してきて、とりわけ日本の行事文化の大黒柱であるお正月はお餅が重要な役割を果たすのだそうです。(All Aboutより)

鏡餅の名前は、昔の鏡の形に似ているからです。昔の鏡は青銅製の丸型で、神様とのかかわりも深く神事で用いられたり、ご神体として崇められたりして、神聖な物と考えられていました。

鏡餅は、大小の二つのお餅を重ねる(地域によっては三段)ことで、月(陰)と日(陽)を表しているとも言われます。幸福と財産(福德)が重なって縁起がよいと考えられているほか、円満に歳を重ねるという意味も込められているとも言われているそうです。(メイジノオトより)

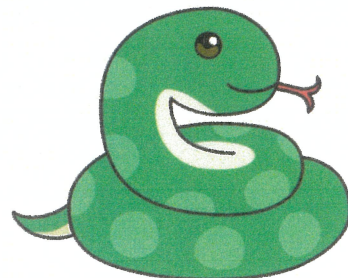


幼稚園では、三学期も数多くの行事があります。園児たちは、元気いっぱい遊ぶ中で友だちとの人間関係を学習し、身体を動かすことで運動能力を養い、行事に取り組むことで達成感を感じてくれることと考えます。

本年も、本園に対するご理解とご協力をお願いいたします。

へびに関する雑学

トカゲ類、へび類は、殻(から)を持った丈夫な卵で生まれ、卵は卵殻によって守られているので、乾燥によって死滅することはない。そのため、多くの種類では、産卵後、卵はそのままに放置され、自然孵化(ふか)、子どもの自活にゆだねるのである。



しかし、ある種のトカゲやコブラのような少数のへびでは、メスが卵とともにとどまり、侵入者を追い払うが、コブラでは、オスもまた保護に加わるといふ。

ニシキへびはまた特異で、産卵したメスは数十個の卵を中心にとぐろを巻き、数週間にわたってこれを保護する。その中でもインドニシキへびなどは、鳥類の抱卵(ほうらん)行動に近い行動を見せる。すなわち、とぐろを巻いたメスへびは、単に保護するだけではなく、卵に温度を加えるのである。変温動物であるへびは、卵を温めることはできないが、インドニシキへびは、体の筋肉を収縮させることによって熱を発生させ、抱卵温度を上げるのである。

上野動物園でもインドニシキへびの繁殖例があるが、三十~四十個の卵の塚の周りにとぐろを巻いた母体が、その筋肉をビクッと収縮させる様子が観察されている。

(元上野動物園長 中川志郎 著「パンダは珉(な)めて子を育てる」より抜粋)

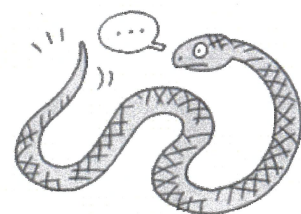
へびは自分の口より大きいフタでも丸呑み。どうやって?

熱帯には自分の口より大きいフタでも丸呑みする大型のへびがいる。

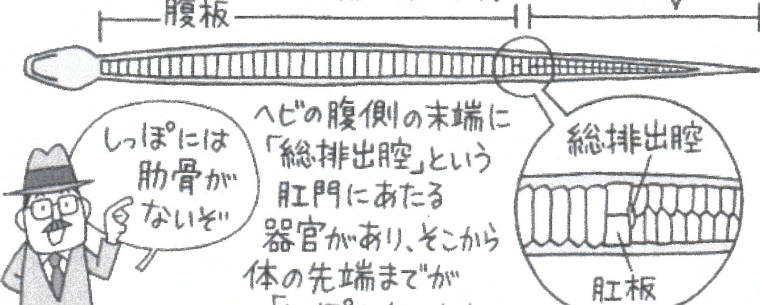
どうやって呑み込むかというと、あごの関節が2つあって、口を大きく開くことができ、また、下あごが左右にわかれ、靭帯でつながっているため、くわえたまま少しずつ送り込むことができる。歯は細く鋭いが、噛み砕くことはできない。噛みつくのに都合よくできている。



へびのしっぽはどこからどこまで?



へびは頭からしっぽまで、一本の胴体だけにつながっていますが、いったいどこからか「しっぽ」なのでしょう? 実は、それには以下のような明確な定義があります。



レタスクラブより

へびの腹側の末端に「総排出腔」という肛門にあたる器官があり、そこから体の先端までが「しっぽ」となります。

しっぽには肋骨がないぞ!

(坪内忠太 著「子どもにウケるたのしい雑学」より抜粋)